かすみがうらマラソン

兼国際盲人マラソンかすみがうら大会

かすみがうらウオーキングを同時開催

今年で十七回目となるかすみがうらマラソン兼国際盲人マラソンかすみがうら大会が、四月十五日に開催され一万千六百三十三人の選手が参加しました。

大会は、五キロメートル、十マイル、フルマラソンの三種目。フルマラソンの参加者は、加茂入リ口からかすみがうら市内に入り、郷土資料館先の中間点を越え、牛渡・加茂の湖岸沿いを、スタートした土浦の川口運動公園目指して走り抜けました。

マラソンおよび同時開催されたウオーキングの参加料の一部は、霞ヶ浦浄化運動資金と盲導犬育成助成金として寄与されました。

▲選手には嬉しい追い風（26㎞地点：牛渡）

▲あゆみ太鼓のメンバーが選手を激励（22.5㎞地点：歩崎公園前）

かすみがうらウオーキング

かすみがうらマラソン大会実行委員会は、マラソンと同時に、今回で三回目となる「かすみがうらウオーキング」を主催、三百六十七人が参加しました。

歩崎公園を出発した一行は、班ごとに列をつくり、ゴールの川口運動公園まで約十八・五キロメートルの間、春の霞ヶ浦の景色を楽しみました。

▲ウオーキング参加者の最年少は２歳

◀霞ヶ浦堤防を散策

香音色 街のわだい TOWNS★TOPICS

元教師３人が「霞ヶ浦讃歌」を共同制作

―有河 牛渡 加茂 戸崎 水ぎわ走る遊歩道 小舟漁待つ港には 水鳥憩い童歌―

これは、かすみがうらマラソンの大会本部で流れたCD「霞ヶ浦讃歌」の歌詞の一部。「TX音頭」など地元をアピールする歌を作っている三人組、元教師、英賢孝（はなぶさたかし）さん（作詞・作曲、つくば市）、仁田悦朗さん（編曲、かすみがうら市上稲吉）、野上洋三さん（歌、土浦市）が共同で制作したものです。

英さんは、「マラソンに集まった方々に霞ヶ浦をアピールするため、また、選手としてフルマラソンに出場した野上さんのため、この曲を作ることを考えました。」また、仁田さんは、「春のほのぼのとした霞ヶ浦の雰囲気が曲に出せていると思います。」と話してくれました。

左から野上さん、仁田さん、英さん

農業後継者の結婚媒酌人を表彰

四月十一日、あじさい館で、平成十八年度中に結婚した農業後継者に感謝状と記念品を贈呈すると同時に、その媒酌人にも感謝状と謝金の贈呈を行ないました。

これは、市の農業後継者とその配偶者に農業に対する意欲の向上を図ることを目的に行なわれているもので、平成十八年度は、五人の媒酌人の活躍により、四組の農業後継者の夫婦が誕生しました。

中でも、かすみがうら市結婚相談員会長の島田揚二氏は、三組の媒酌人を努めるなど、市の農業後継者育成に寄与していました。島田会長は、「今後もかすみがうら市の農業後継者対策に貢献していきたい」と語ってくれました。

３組の媒酌人を務めた島田会長（左）

山桜の隠れ名所 林道三ツ石線が開通

成沢の桜などで有名な雪入地区に、六百八十五メートルの林道三ツ石線がこの度開通しました。この林道ができたことで、三ツ石森林公園と雪入ふれあいの里公園間が八キロメートルの距離となり、これまでのように、一度山から降りなくても両施設間を行き来することができるようになりました。

また、四月の上旬には林道の両側から雪入山の山桜が見え隠れし、中には、夕陽で輝くきれいな姿が見えるスポットがあり、新たな桜の名所となりそうです。

林道の途中には、山桜目当てに多くのカメラマンが